

事項	<p>水稻のカメムシ類に対するクロチアニジン0.5%粉剤（ダントツH粉剤DL）の1回散布の防除効果</p>		
ねらい	<p>従来、水稻のカメムシ類の防除は穂揃期以降2～3回の茎葉散布で行われているが、近年、農薬登録されたネオニコチノイド剤（チアニコチニル剤）であるクロチアニジン0.5%粉剤（ダントツH粉剤DL）は、1回散布で斑点米の抑制効果が認められたので参考に供する。</p>		
指導参考内容	<p>1 防除方法</p> <p>(1) 農薬名</p> <p>ア 一般名：クロチアニジン粉剤（クロチアニジン0.5%粉剤）</p> <p>イ 商品名：ダントツH粉剤DL</p> <p>ウ 有効成分：クロチアニジン 0.5%</p> <p>エ 剤の系統：ネオニコチノイド剤（チアニコチニル剤）</p> <p>(2) 使用時期：穂揃期～穂揃7日後</p> <p>(3) 使用量：4 kg/10a</p> <p>(4) 使用方法：散布</p> <p>2 農薬使用基準等</p> <p>(1) 適用害虫及び使用方法</p> <p>ア 適用害虫：カメムシ類</p> <p>イ 使用量：3～4 kg/10a</p> <p>ウ 使用方法：散布</p> <p>エ 使用時期：収穫14日前まで</p> <p>オ 使用回数：3回以内</p> <p>（クロチアニジンを含む農薬の総使用回数：4回以内（ただし、本田期は3回以内））</p> <p>(2) 人畜毒性：普通物</p> <p>(3) 魚毒性：A類</p> <p>(4) 登録月日：平成16年2月25日</p>		
期待される効果	<p>1 従来の茎葉散布に比較すると散布回数が少なくなり省力化となる。</p> <p>2 同じく1回散布で防除効果が確認されている水面施用剤より価格は安く、効果も安定しているため低コスト化につながる。</p>		
利用上の注意事項	<p>1 本資料は平成17年3月1日現在の農薬登録に基づいて作成した。</p> <p>2 農薬を使用する場合は、必ず最新の「農薬登録情報」(http://www.maff.go.jp/nouyaku/)を確認すること。</p> <p>3 本剤は穂揃7日後散布の方が防除効果が安定している。</p> <p>4 周辺の休耕田及び畦はん等の雑草地の管理を行い、カメムシ類の密度低下に努める。</p> <p>5 クロチアニジン0.15%粉剤（ダントツ粉剤DL）も市販されているので、間違わないようにする。</p> <p>6 殺菌剤との混合剤は、本県では流通していない。</p> <p>7 蚕、ミツバチ及びマルハナバチに悪影響を及ぼすので注意する。</p>		
担当	青森県農林総合研究センター 病害虫防除室	対象地域	県下全域
発表文献等	平成16年度 青森県農林総合研究センター試験成績概要集		

【根拠となった主要な試験結果】

表1 ダントツH粉剤DLに対する20回振りすくいとり調査結果

(平成16年 青森農林総研)

供試薬剤 (処理量)	処理時期 (月日)	種類	20回振りすくいとり数										葉害	
			7/30	8/2	8/5	8/9	8/12	8/17	8/19	8/23	8/27	9/3		
ダントツH粉剤DL (4kg/10a)	穂揃期 (7/30)	アカヒゲ ムギ	4 0	2 0	0 0	1 0	0 0	—						
	穂揃7日後 (8/6)	アカヒゲ ムギ	0 0	0 0	0 0	0 0	1 1	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	—
	穂揃14日後 (8/13)	アカヒゲ ムギ	7 0	0 0	0 1	0 0	1 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	IV-1 0	—
	穂揃21日後 (8/20)	アカヒゲ ムギ	0 0	1 1	5 0	2 1	0 0	—						
対) ダントツ粉剤DL (4kg/10a)	穂揃期+穂揃7日後+穂揃14日後 (7/30+8/6+8/13)	アカヒゲ ムギ	5 0	0 0	1 0	0 0	—							
無処理	—	アカヒゲ ムギ	3 0	0 0	0 2	0 0	2 0	0 1	0 0	0 0	0 0	0 0	IV-1,2 0	—

(注) 1 (試験条件) 試験場所: 青森農林総研ほ場 品種: つがるロマン 移植月日: 平成16年5月21日
出穂期: 7月28日 穂揃期: 7月30日刈取り日: 9月15日

2 アカヒゲはアカヒゲホミドラスカメを示し、ムギはムギカスカメを示す。ローマ数字はアカヒゲホミドラスカメ幼虫の齢数を示す。

表2 ダントツH粉剤DLに対する斑点米調査結果

(平成16年 青森農林総研)

供試薬剤 (処理量)	処理時期 (月日)	調査粒数	1000粒当たり斑点米被害粒数						斑点米発生率 (%)
			頂部	腹面部	背面部	鈎合部	全 面	頂部+鈎合部	
ダントツH粉剤DL (4kg/10a)	穂揃期 (7/30)	60000	0.15	0	0	0.73	0.02	0	0.090 [43]
	穂揃7日後 (8/6)	60000	0.07	0	0	0.03	0	0	0.010 [5]
	穂揃14日後 (8/13)	60000	0.12	0	0	0.33	0	0	0.045 [21]
	穂揃21日後 (8/20)	60000	0.22	0	0	0.35	0	0.02	0.058 [28]
対) ダントツ粉剤DL (4kg/10a)	穂揃期+穂揃7日後+穂揃14日後 (7/30+8/6+8/13)	60000	0.02	0.02	0	0.12	0	0	0.015 [7]
無処理	—	60000	0.10	0.02	0.05	1.87	0.03	0	0.207 [100]

(注) 1 試験条件は表1と同様

2 斑点米被害は1.9mm以上の玄米での調査で、[]内は無処理を100とした時の数値

表3 現地におけるダントツH粉剤DLの防除効果

(平成16年 青森農林総研)

供試薬剤 散布時期(月日)	種類	50回振りすくいとり数								調査 穂数	調査 粒数	1000粒当たり斑点米粒数		斑点米 発生率(%)	葉害
		8/3	8/6	8/11	8/15	8/22	8/28	9/2	9/12			頂部	鈎合部		
ダントツH粉剤DL (8/4)	アカヒゲ	15.0	1.3	0	0	0.3	0	0	0	307	26148	0	0.28	0.027	—
	ムギ	0	0	0	0	0	0	0	0						
対) アルパリン粉剤DL (8/4+8/16)	アカヒゲ	10.7	0	0	0	0	0	0	0	301	26145	0.04	0	0.004	—
	ムギ	0	0	0	0	0	0	0	0						

(注) 1 (試験条件) 試験場所: 北津軽郡鶴田町鶴田 品種: むつほまれ 移植月日: 平成16年5月19日
出穂期: 8月2日 穂揃期: 8月4日 穂抜き日: 9月13日

2 アカヒゲはアカヒゲホミドラスカメを示し、ムギはムギカスカメを示す。

3 斑点米被害は1.9mm以上の精玄米での調査である。

(参考) ダントツH粉剤DL 価格: 1袋(3kg)約1,300円 約1,700円/10a